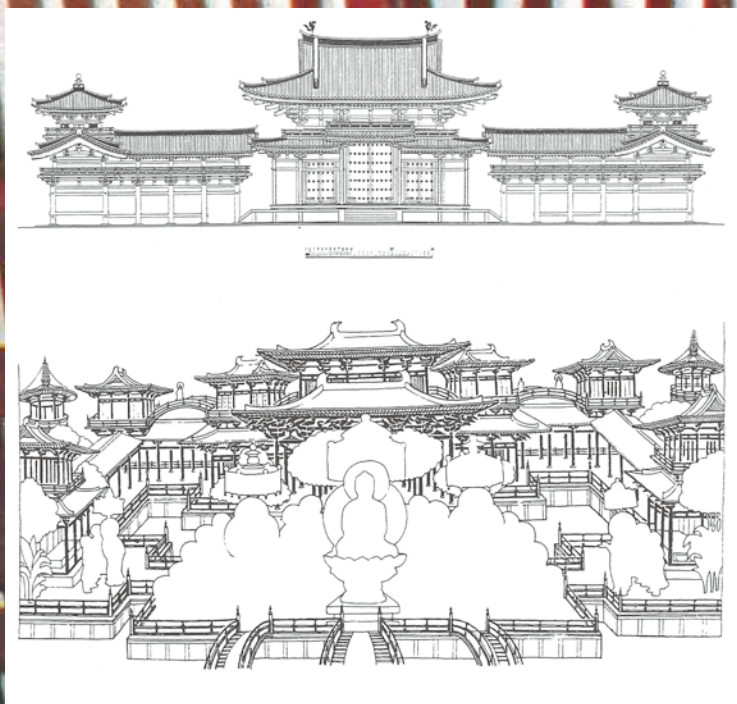


田中 淡 著作集 3

中国建築と日本

A 5 判上製カバー装 本文 584 頁 挿図 296 点
ISBN 978-4-8055-1152-7 C3052 2024 年 2 月刊
定価 8,800 円 (本体 8,000 円 + 税 10%)



上: 平等院鳳凰堂 下: 敦煌莫高窟觀經變相図の仏寺 (盛唐)

中国建築史の泰斗が読み解く、日中建築の実相。中世における最重要の建築様式のひとつと目される「大仏様」の内実、中国建築史学の動向、飲食や狩猟にかかわる生活技術史。斯界を代表する著者による、中国文化全体を視程に収めた研究の真価が本書によって初めて明らかとなる。『田中 淡 著作集』最終巻。

中央公論美術出版

中国建築が日本へもたらしたものは—

目 次

第一部 中国建築と日本

- 一 大陸系建築様式の出現
- 二 塔のかたち — 中国と日本
- 三 再考 弥生建築 — 唐古遺跡絵画土器をめぐって
- 四 中国の庭 — 日本庭園への影響
- 五 唐代都市の住居の規模と算定基準
- 六 日本建築に探る中国文化の古層
- 七 重源と大仏再建
- 八 重源の造営活動
- 九 伊賀新大仏寺の創立と沿革
- 一〇 伊賀新大仏寺の発掘調査
- 一一 東大寺再建と大仏様建築
— 鎌倉時代の新技術の源流は？
- 一二 東大寺国宝建築解説
- 一三 中国建築史からみた「大仏様」
- 一四 大仏様建築 — 宋様の受容と変質
- 一五 中国建築の知識は如何なる媒体を通じて
日本に伝えられたか

第二部 中国建築史学の誕生と展開

- 一 関野貞の中国建築史学
- 二 村田治郎の中国建築史学
- 三 劉敦楨と近代中国建築学
- 四 ニーダム博士の中国建築史学
- 五 アンドリュー・ボイドの『中国の建築と都市』
- 六 中国建築の年代学的通史を如何に叙述するか

第三部 中国生活技術史ノート

- 一 古代中国画像の割烹と飲食
- 二 飲食について — 『遵生八牋』にみえる食品
- 三 古代中国の狩猟
— 捕獲動物の種類と狩猟方法の類型
- 四 古代中国の水利 — 大河を治めた英雄たち
- 五 黄泉の暮らしと住まい — 明器陶屋の世界

田中淡博士 略歴

田中淡博士 著作目録

出典一覧

解題 (藤井恵介・高井たかね)

著者略歴

田中淡 (たなか・たん)

1946年7月23日 神奈川県生まれ
1969年3月 横浜国立大学工学部建築学科卒業
同年4月 東京大学大学院工学系研究科
建築学専攻入学
1971年9月 文化庁文化財保護部建造物課文部技官
1974年4月 京都大学人文科学研究所助手
1981年2月 北川桃雄基金賞
〔先秦時代宮室建築序説〕
1985年4月 京都大学人文科学研究所助教授
1987年3月 工学博士 (東京大学)
1992年9月 濱田青陵賞 (『中国建築史の研究』)
1994年4月 京都大学人文科学研究所教授
2010年3月 京都大学を定年退職
同年4月 京都大学名誉教授
2012年11月18日 逝去

田中淡著作集 全3巻

田中淡 著作集 1

中国建築の特質

稀代の歴史家が語る中国建築の精髓！

「本書に収められた21本の文章は、田中淡氏が全力を傾けて解説しようと試みた中国建築の特質について、ほぼすべての中国建築を対象として、多様な方法をもちいて論じている。読者諸賢には是非心から賞味していただきたいと願うばかりである。」

《「解題」(藤井恵介/東京大学名誉教授)より抜粋》

定価 6,050円 (本体 5,500円 + 税 10%)

A5判上製カバー装 本文 280頁 挿図 206点

ISBN 978-4-8055-1150-3 C3052 2018年3月刊

田中淡 著作集 2

中国建築と庭園

中国建築史の泰斗、田中淡が拓いた世界

中国や欧米をはじめ国外においても重視される、最高レベルにあり続けた田中の中国建築・庭園史研究。没後10年を経ても価値のまったく衰えない、その成果の核心たる研究論文を中心に収録。

定価 8,800円 (本体 8,000円 + 税 10%)

A5判上製カバー装 本文 624頁 挿図 315点

ISBN 978-4-8055-1151-0 C3052 2023年3月刊

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1

IVYビル6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

website <https://www.chukobi.co.jp/>

お取り扱いは